公表:令和7年2月10日

事業所名 みずいろはうす 保護者等数(児童数) 3 回収数 1 割合 33

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏 まえた 対応
	1	子どもの活 動等のス ペースが十 分に確保さ れている	100%	Ο%	Ο%	Ο%		
	2	職員の配置 数や専門性 は適切であ る	100%	0%	0%	0%		
環境・体制整備	3	生はわいれなまのじのはり報の切て活、か構たった特事設、一伝配にい空本り造環い降性業備バ化達慮なる間人や化境の障に所等ア情へ適れにすさにる害応所のです。	100%	0%	0%	0%		
	4	生はで過境い子活せな活流心せなま達合間ないまでであるというないであるといったのかとないまでいい。	0%	100%	О%	О%		

No	集計数	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない
1	1	1			
2	1	1			
3	1	1			
4	1		1		

	5	子どもと保護者の思題が客観的たり、 できまかい できない できない できない できない できない できない できない でいる	100%	0%	0%	0%	
適切な支援の提供	6	児援は達ド「支す援支支行「援支すかの要適さ上的容れ童計、支う児援べ」援援支家」、援支ら支な切れでながて発画児援ン発しのでであり、「支援で、「大選のでは、「大選のでは、「大選のでで、「大選ので、「大選の 大 で 大 で	100%	0%	0%	0%	
	7	児童発達支援計画に 沿った支援 が行われている	Ο%	100%	Ο%	Ο%	
	8	活動プログ ラムが固定 化しないよう エ夫されて いる	100%	0%	0%	0%	

5	1	1		
6	1	1		
7	1		1	
8	1	1		

9	保育では 定さ がある ので 等の で 等の を も と し い で き る と し る で る の で き る と し る う と も も も も と し る ら と も と も と と も と も と も と も と と る と と る と る	100%	0%	0%	0%	
10	運営規程、 利用者負担 等について 丁寧な説明 がなされた	100%	0%	0%	0%	
11	児援ン発提支ら援こきた達画が内が発行児支すのびと基さ重計しら容なないのがと基さ重計しらのないを基さ重計し援いないがと基さができます。のされた。	100%	0%	0%	0%	
12	保護者に対して家族支援プログレント・ト・レニングiv等)が行われている	0%	100%	0%	Ο%	

9	1	1		
10	1	1		
11	1	1		
12	1		1	

	13	日どを伝えどや沢いつ理が、は、それでは、それでは、それでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これが、は、のでは、のでは、これでは、のでは、これでは、のでは、これでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	0%	100%	0%	0%	
適切な支援	14	定保では、対して、対して、対して、するをである。では、対して、対のであり、では、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	0%	100%	0%	0%	
支援の提供	15	父母の会の 活動、保の 等のより は に で ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に ま に に ま に れ に る に に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 る に る に る に る に る に る に る に る 。 に る 。 に る 。 に る に る 。 に る 。 に る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	0%	100%	0%	0%	
	16	子護相れて体さとど者説相れに適さど者談に、制れともに明談を迅切れもかやり、はないに、保知れ申たか対い、保知れ申たか対る保の入の備る子護・、入際つ応る	0%	100%	0%	0%	

13	1	1	
14	1	1	
15	1	1	
16	1	1	

	17	子どもや保 護の疎伝 を は を は を を を を を る で る で る で る で る で る で る で る	100%	0%	0%	0%	
	18	定報ペで要定制やす価子護てて期や一、や、等業るのど者発い的ホジ活行連の務自結もに信るに一等動事絡情に己果や対さ会ムの概予体報関評を保しれ	100%	О%	О%	О%	
	19	個人情報の 取扱いに十 分注意され ている	100%	0%	0%	0%	
非常時等の対応	20	緊マルニ感マ等しに明る生た施る急ニ、ユ染ニを保囲さまを訓さけていたがア症ュ策と知れま想練れ対アルル対ア定護・て、定がてない、ない、	0%	100%	0%	0%	

17	1	1		
18	1	1		
19	1	1		
20	1		1	

	21	非発生に難え、 に避難、 に避難、その は、要な が行われて いる	0%	100%	0%	0%	
満足度	22	子どもは通 所を楽しみ にしている	100%	0%	0%	0%	
度	23	事業所の支 援に満足し ている	100%	0%	0%	0%	

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等	向け児童発達支援評価表」により事業
所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。	

21	1		1	
22	1	1		
23	1	1		

公表:令和 7 年 2 月 10 日

事業所名 みず

回収数をこちらに記載

<u> </u>	7 年 2 月	<u> 10 Ц</u>			<u> 事業所名</u>	みす
		チェック項目	はい	いいえ	E夫している。	課題や改善 すべき点を 踏まえた 改善内容又 は改善目標
	1	利用定員が 指導訓練ス との関係である 適切である	100%	0%	落ち着ける小部屋がある	
	2	職員の配置 数は適切で ある	100%	0%		
環境・体制整備	3	生はわくれなまのじのはリ報の切て活、か構たった特事備バー伝配にいいた境環に降性ので、性悪情が、化達慮なるで、性、等が、一伝配にいいでは、は、一、のは、の切て、性、のでは、のでは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは	100%	0%		
	4	生はで過境い子活せな活流、心ではるど動たった達合間のはないま達合間に空いではない。もに空いないでは、なったのわとる	100%	0%	特にコロナ 以降、気を 付けている	
	5	業務のPDCAサイクル(最いでは、 でのPDCAサイクルとにがいるく職している ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいる。 できる。	100%	0%		
	6	保けよ者で評すに等を業つる護評り、等事価る、の把務な者価保に業をと保意握改げ等表護対所実も護向し善で向に護しの施者等にい	100%	0 %		
業務改善	7	事自及向のま所己うそよ質び容所ホジし業己びけ結えと評とのるの改をの一等で所評保評果事て極に結支評善、会ムでい何種種価を事てをに果援価の事報ペ公るの価護価を事でをに果援価の業や一開け表者表踏業自行、にの及内業や一開	100%	0%		

No	集計数	はい	いいえ
1	4	4	
2	4	4	
3	4	4	
4	4	4	
5	4	4	
6	4	4	
7	4	4	

	8	第三者による外部では る外部に、評価結果を業務改善にる なげている	Ο%	100%		必要の有無 を含め、今 後の検討課 題とします
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	75%	25%	外部の研修 への参加も 増やします	
	10	アをい保ニー をいい 保 ニー 題が 子を のいまる 一 できる できる できる できる できる できる できる できる できる といる といる といる といる といる といる といる といる といる とい	100%	0%		
	11	子どものの 応を動るない。 がに、 がに、 がたれたたり セスメント セスメント 使 用している	100%	0%		
	12	児援は達ドラに支す援支支行「援支すかの要適さ上的容れ童計、支う児接べ」の援援支族「援支ら支な切れでながて発画宣援ン発視支係へ体及援支地で援子援項にて、支設い達に電視の達に支援支統の達供を入る。 域示容も必が択の体内さ支 発イの達供 達人移、 域示容も必が択の体内さ	100%	0%		
適切	13	児童発達支援計画に 沿った支援 が行われている	100%	0%		
のな支援の提供	14	活動プログ ラムの立案 をチームで 行っている	75%	25%	誰かのアイ デアに偏ら ないように する	
	15	活動プログ ラムが固定 化しないよう エ夫してい る	100%	0%		
	16	子況て動動み児援成とも応別団宜せ達を合章計している。 おいっと かんり おいっと かんり はいい おいっと かんり はいい おいい おいい おいい おいい おいい おいい おいい おいい おいい	100%	0%	共有ノートを 使っている	

8	4	0	4
9	4	3	1
10	4	4	
11	4	4	
12	4	4	
13	4	4	
14	4	3	1
15	4	4	
16	4	4	

	17	支にでせ日支やにでせる大きにでせる大きに必を行援でしたの割けるであります。これの分でである。これでは、これの分でである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	100%	Ο%	
	18	支に間合のたりいた有とない。ためでは、必をもったりいた方ではいるではいるのでは、点にではいたがでいたが、はいたが、はいたが、はいたが、はいたが、はいたが、はいたが、はいたが、は	100%	Ο%	
	19	日に録をを支記を表してない。 女にしることををはるした。 大きない できる はん できる はん きゅう かいがい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい い	100%	0%	
	20	定期的にモニタリングを イングを 行い、児童 発達の見要はし の必断してい る	100%	Ο%	
	21	障支の担にも精もいし ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	100%	0%	
	22	母子と支係機と 子で関係機した 子で関係機した はたって は たってい る	100%	0%	
	23	(ア子症の等し合) 地健障保等関た行の変や障子支る の療福教関連援いのと支での要ながに、 は、書育のと支での要なが、 の原福教展携をいたな重害ど援場 保、、、育機しる	100%	0%	
	24	(ア子症の等し合 子治医とをる 医がど心あ等に) せいのもしら をいめ要や障子支る の協関体で がといる等に) もや機解なて が要素を が変重害ど援場 主力等制い	100%	0%	

17	4	4	
18	4	4	
19	4	4	
20	4	4	
21	4	4	
22	4	4	
23	4	4	
24	4	4	

関係機関や保護者との連	25	移し所ど稚支のと支のとをでいたので、現までは、大学部で、容様では、大学部で、容典理のとで、大学部で、容典理では、大学部で、容典理では、大学部で、容典理では、大学部で、容典理では、大学部で、大学のと、大学のと	100%	0%		
携関係機関や保護者との連	26	る移し校援学間内報互図で、一大大学部で、容有解して、おります。で、おります。これでは、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	100%	0%	連絡会に参加している	
携	27	他達タ発業障セのと言受の支一・大学の大学の実施を大きな、一次のと言い、一般のと言い、一般のと言い、一般のは、一般のと言い、一般のと言い、一般のと言い、一般のと言い、一般のと言い、一般のと言い、一般のと言い、	100%	0%	ケース会 議などを利 用している	
	28	保定は 育だ関策の でまる ので 等と は る の に る の に る の と き と も る の と る と る た る た る と る と る と る と る と る と る	0%	100%		保護者も 含め、つい と思ってい ないので 現状のま ま
	29	(自立支援) 協議会やと 域の (協議会を (事を) (事を) (事を) (事を) (事を) (事を) (事を) (事を	100%	0%		
	30	日どを伝子達課でを伝子をはいません。というでは、それのでは、これのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、それでは、それでは、それでは、それでは、それでは、それでは、それでは、そ	100%	0%		
	31	保応をかれる家ロアレキをるの観度のない、対象のないでは、からののでは、できながらいでは、は、からのでは、は、いいのでは、	100%	0%		
	32	運営規程、 利用者負担 等について 丁寧な説明 を行ってい る	100%	0%		

25	4	4	
26	4	4	
27	4	4	
28	4		4
29	4	4	
30	4	4	
31	4	4	
32	4	4	

	33	児援ン発提支ら援れ作「「支をらのいか達ので童がの達供援い内に成児援示支説、ら支同い発イ「「支す」」及容基さ童計し援明保児援意る達「宣援べのびとづれ発画な内を護童計を達り童のきね支、きた達」が容行者発画得支イ	100%	0%		
	34	定保の悩す適じ助をの悩す適じ助を有等等談応をとているがでいます。	100%	0%		
保護者への説	35	父活し者催よ者携て のを支保を等護の 会すり、同を 会を保験に を を を を を は は を る は り、 に き る に き る に ま り、 に き る に と る と に と り に と る と と る と る と る と る と る と る と る と る	0%	100%		不要との 声が多い ので、会を 開くことは しない
の説明責任等	36	子護相れて体すにや周談が合つ応ど者談に、制る、保知やあに適しど者談に、制る、保知やあに適しもかやつ対をと子護し申っ迅切てやら申い応整とど者、八た速にいやら申い応整ととは者、入の嫌しもには、場の入の備	100%	0%		
	37	定報し要定制を保している。 大学 では、 では、 では、 では、 では、 等子護発では、 では、 等子護発では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	100%	0%		
	38	個人情報の 取扱いに十 分注意して いる	100%	Ο%	鍵のかか るキャビ ネットを使 用	
	39	障害のある 子どもとの通 思の伝達 思の伝達 を ための ための ための たしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待域に 民を把がれた事業運っている	100%	0%		

33	4	4	
34	4	4	
35	4	0	4
36	4	4	
37	4	4	
38	4	4	
39	4	4	
40	4	4	

	41	緊マ防ア症ニを職者る発し実る急ニ犯ル対ユ策員にと生き訓し時アニ感マルし保知に想象である。とない、ない、ない、は、ない、は、ない、は、ない、は、ない、は、ない、は、は、は、は	100%	0%	委員会を 行っている	
	42	非常性の 発生に期 え、定難、 と と と と と と と と と と と と と と と 、 と 、 と	100%	0%	年に2回 行っている	
	43	事前に、服薬や予んか 種、てんか ん発作等の こどもの状 況を確認し ている	100%	0%		
非常時等の対応	44	食物アレルるサールをもに、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは	100%	0%		
	45	ヒヤリハット 事例集を作 成して事業 所内で共有 している	100%	O%		
	46	虐待を防い を防め、 の研確 機会を等、応 る対なないる	100%	0%	定期的に 研修を実 施している	
	47	ど場を拘かてに子護に明得児援載の合得東に、決ど者十した童計しよにずをつ組定もに分了上発画でいるがは、 大く おいま いっかり かい 保前説を、支記るなむ体う 的、保前説を、支記る	100%	0%	説明をしていま す。	

41	4	4	
42	4	4	
43	4	4	
44	4	4	
45	4	4	
46	4	4	
47	4	4	

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 7 年 2 月

事業所名 みずいろはこ

保護者等数(児童数)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏ま えた 対応
	1	子どもの活 動等のス ペースが十 分に確保さ れているか	63%	25%	O%	13%	2Fもあるの で十分です	
環境・体制整備	2	職員の配置 数や専門性 は適切であ るか	50%	25%	13%	13%		
	3	事備ロすなどの配にいるいる、や設りのではなりのが、いるいがのができませんが、いるできません。	63%	25%	0%	13%		
適切な支援の提供	4	子護ズ客村で等近次 を出した。 と二郎的たま がデス計成か で等フェルがいるか	88%	0%	0%	13%		
	5	活動プログ ラム*2が固 定化しない ようエ夫さ れているか	88%	O%	O%	13%	外出が多く ありがたい	

アンケートの

回収数をこちらに記載

No	集計数	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
1	8	5	2		1
2	8	4	2	1	1
3	8	5	2		1
4	8	7			1
5	8	7			1

放課後児童 クラブや児 童館との交 流や、障が 25% 必要ないで す 25% 13% 38% いのない子 どもと活動 する機会が あるか 支援の内 容、利用者 負担等につ 7 100% 0% 0% 0% いて丁寧な 説明がなさ れたか 日頃から子 どもの状況 を保護者と 伝え合い、 子どもの発 8 88% 13% 0% 0% 達の状況や 課題につい て共通理解 ができてい るか 保護者に対 して面談 定期的に面 や、育児に がをしても らっていま 9 関する助言 88% 13% 0% 等の支援が 行われてい るか 父母の会の 活動の支援 や、保護者 25% <mark>必要ないで、</mark>す 会等の開催 等により保 10 13% 13% 50% 護者同士の 連携が支援 されている か 保

6	8	2	1	3	2
7	8	8			
8	8	7	1		
9	8	7	1		
10	8	1	1	4	2

護者への説明等	11	子護苦て体すにや周しあに適しど者情対をと子護説情場か可込切にをとどき説情場が対め保のいの備ももに明が合つ応か	75%	13%	0%	13%		
	12	子どもや保 護者との通や 情報伝達の ための配慮 がなされて いるか	88%	13%	0%	0%	送迎時に様 子を教えて くれます	
	13	定報ペで要定制やす価子護でい期や一、や、等業るのど者発のに一等動事絡情に己果や対している。概例をはいいます。	75%	13%	0%	13%	SNSをよく見 ています	
	14	個人情報に 十分注意し ているか	100%	0%	0%	0%		

11	8	6	1	1
12	8	7	1	
13	8	6	1	1
14	8	8		

非常時等の対応	15	緊ニ、ホーニ 感マルル ニー 感 マー・スート アルル 対アル デール できる できる できる できる いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	50%	25%	0%	25%	わかりません	面談での 来所時に、 各種マニュ アルの説 明します
	16	非発えに出めがい 第生に難、その訓れ 要ではいまする。 までは、要ができる。 までは、要ができる。 までは、要ができる。 は、要ができる。 は、要ができる。 は、要ができる。 は、要ができる。 は、要ができる。 は、までは、までは、までは、または、または、または、または、または、または、または、または、または、また	63%	0%	0%	38%		
満足度	17	子どもは通 所を楽しみ にしている か	88%	13%	O%	O%	楽しみにし ています	
	18	事業所の支援に満足し ているか	100%	0%	0%	0%	満足してい ます	

^{*1} 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

15	8	4	2	2
16	8	5		3
17	8	7	1	
18	8	8		

^{*2} 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

<u>アンケートの</u>

公表:令和 7 年 2 月

事業所名 みずいろはうす

回収数をこちらに記載

						AM 12	1				
		チェック項目	はい	いいえ	E夫している,	課題や改善す べき点を踏ま えた 改善内容又は 改善目標		No	集計数	はい	いいえ
環	1	利用定員が 指導訓練室 等スペースで との関係ある 適切である	100%	O%	落ち着ける小 部屋がある			1	4	4	
環 境 • 体	2	職員の配置 数は適切で ある	100%	0%				2	4	4	
体 制 整 備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75%	25%			3	3	4	3	1
4 	4	業務を 進めるため のPDCAサ イクル(目標) とに、 く職員 している	100%	Ο%				4	4	4	
	5	保け活にケを保意握改げ護評用よー実護向し善ても大を保意をでいた。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	100%	0%				5	4	4	
業務改善	6	この自己評価の結果を、事報やの会なるのがある。 の会なのでのでは、事でののないでは、事でののは、事でののでは、またいでは、またいではでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、ま	100%	0%	SNSの活用			6	4	4	
	7	第三者による外部でいる を行い、評価 を行い、評 の は り は り は き で に り い い い い い い い い い い い い い い い い い い	0%	100%		必要の有 無を含め、 今後の検 討課題とし ます		7	4		4
	8	職員の資質の方ために、研修の機会を確保している。	75%	25%		外部研修 への参加 も増やしま す		8	4	3	1
	9	アをい保二題に上後サ画て ス切子者 ズ客析、デビルターを分で等一をいくがでする や観し放イス成 がだく 成 課的た課 計し	100%	0%				9	4	4	
	10	子応況をかける標子では を動を をがれた を が に さ な た り に さ れ た り に さ れ た り に さ れ り に さ れ り れ り れ り り り り り り り り り り し り し し し し	100%	Ο%				10	4	4	

				1	1	
	11	活動プログ ラムの立案 をチームで 行っている	100%	0%		
	12	活動プログ ラムが固定 化しないよう エ夫してい る	100%	0%		
適切な支援の提	13	平日暇てきいに支る	100%	0%		
	14	子況て動動み放イ計して、とを合課が重なが、人とを合いませい。 とをのじり 団 重要の おりまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はいまる はい	100%	0%		
供	15	支にでせ日支やに認いた。というでは、大きないいでは、大きないいでは、大きないいでは、大きないでは、大きないいでは、大きないでは、まないいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいでは、これがいいではないではないではないではないではないでは、これがいいではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	100%	0%		
	16	支に間合のたりいた有とない、点に間合のたりい、点にでせ日支返りではいたはりたが、点にていたが、点にではいたができません。	100%	0%		
	17	日々にはいるには、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、できるでは、できるでは、できるでは、できないがいが、できないが、できないがいが、できないがいが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないがいが、できないがいが、できないがいが、できないがいがいが、できないがいが、できないがいがいがいが、できないがいがいがいが、できないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	100%	0%	共有ノートを つかってい る	
	18	定期的にモ ニタリン放 に チーン放 が ボデンス 直 リン が 関 要 し て り の 必 断 し て り 、 、 デ デ ス り 、 、 デ ビ ス う し も し も し も し も し も し も し も し も し も し	100%	0%		
	19	ガイドライン の総則のを 本組み合を 数組で支援を 行っている	100%	0%		
	20	障害児事児 東援サリニの リニーの リニーの リニーの リニーの リニーの リニーの リニーの リ	100%	0%		参加者が 偏らないよ うにするよ う気を付け る

11	4	4	
12	4	4	
13	4	4	
14	4	4	
15	4	4	
16	4	4	
17	4	4	
18	4	4	
19	4	4	
20	4	4	

関係機関や保護者との連携	21	学報間事交も刻等整のブの適て校共計予換のの)、送対ル連切いと有画定、下確連迎に発絡にると有画定とでは認め、生か行情年行のど時 調・ラ時をつ	100%	0%		
	22	医がどもれると 療必をでした。 京のとをでいる。 京のとをできるが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	100%	0%		
	23	就用保稚こ童事の共理で前にいたい。 学し育園と発業間有解と発業間有解と発業間有解とも達所でとにるいる。 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	100%	0%		
	24	学し等ビか祉事移合で容を等校放デスらサ業行、の等提しを放イ事障一所すそ支の供て本課サ業害ビ等るれ援情すい場合を表している。	100%	0%		
	25	児援や者タ門携やけ 童セ発支等関助を 発ン達援のと 連セのと が が で で の と で の と で の と の と で の と で り で り で り の と り で り の と り に り の と り に り ら り ら る と り る と ら る る と る と る と る と る と る と る と る と	100%	0%	連絡会に 参加	
	26	放課がいた。 放映では、 ないでは、 ないできるできるが、 ないできるできるが、 ないできるが、 ないできるが、 ないできるが、 おいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	0%	100%		現状、必要ないと判断 しています
	27	(地域自立 支援)協議 会等へ積極 的に参加し ている	100%	0%		
	28	日どを伝子達課てを伝子達課である、発やいり、発やいり、発やいの現は、発やいの現は通っている。	100%	0%	気になる事 は連絡して いる	

21	4	4	
22	4	4	
23	4	4	
24	4	4	
25	4	4	
26	4		4
27	4	4	
28	4	4	

	29	保護者の制定をはない。 保護 できない はいい はい は	100%	Ο%		
	30	運営規程、 支援の内 負担で、 担当で いで 説明で でいる	100%	0%		
	31	保護者育等はいいの対すの対すの対し、言いではいいでは、いいではいいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、い	100%	0%		
	32	父母の会の 活動り、等を見 者はり、等等等 に は 会るを と に は る に り、 に は る に り、 に は た り、 に た り、 に た り、 に た り、 に た た り、 に 大 た し た り、 に 大 を し た し た と し た し と し と し と し と し と し と し	Ο%	100%		
保護者への説明責任等	33	子護苦て体すにや周情場か対ると子護古の応整と子護しあに適しているに適しているに適しているに適しているに適しているに適している。	100%	0%		
	34	定期的を開いた。 報告を制きを開いた。 を制きを制きを開いた。 は、おいまでは、 は、おいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、いいまでは、 は、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	100%	Ο%	ホーム ページ	
	35	個人情報に	100%	О%	鍵のかか るかy美 ネットを使 用	
	36	障がいのあ る子どもや 保護の 意思の通 を情報伝通 のための 虚をしてい る	100%	0%		
	37	事業所の行 事に地域住 民を招待する等地れた 開かれた事 業運でいる	75%	25%		

29	4	4	
30	4	4	
31	4	4	
32	4		4
33	4	4	
34	4	4	
35	4	4	
36	4	4	
37	4	3	1

	38	緊マルル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	75%	25%	委員会を 行っている	
	39	非発生に期 発生に期、他 を を で が に の の が に の の が に の が の の の の の の の の の の の の の	75%	25%	年に2回 行っている	
非	40	虐待を防止 するため、 職員の研確 機会を等、応 るる対なながる している	100%	0%	虐待防止 委員会の 開催	
常時等の対応	41	ど場を拘かてに子護に明得放イ計しの合得束に、決ど者十した課サ画によいが身行い織しや事に解で等ビ記るなむ体う 的、保前説を、デス載なむ体う	100%	0%		
	42	食物アレルギードであるでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	100%	0%	保護者様より、情報を頂いている	
	43	ヒヤリハット 事例集を作 成して事業 所内で共有 している	100%	0%		

38	4	3	1
39	4	3	1
40	4	4	
41	4	4	
42	4	4	
43	4	4	